

夢いっぱい笑顔輝く東向小の子ども

校長 丹野 哲也 R8.8.24 号

本日、夏休み明けの朝会で、以下の話をしました。

「心のコップ」

4月に、「努力のつぼ」というお話をしました。大きなつぼにみなさんの一つ一つの努力がたまっていって、つぼがいっぱいになりあふれたとき、願いが叶うという内容でした。

今日は、毎日の過ごし方に関係のある「心のコップ」というお話です。人の心の中には、勉強で取り組んだことや日ごろ努力したことを注ぐコップがあります。努力のつぼと違って、それほど大きくはないので、コップはすぐにいっぱいになってあふれ、いろいろなことが毎日身につき、できるようになるのです。

しかし、一つ問題があります。このコップは、心の中で逆さまになっていることが多いのです。そのままでは、努力を注いでもコップには何もたまりません。

どうすれば良いのでしょうか。そう、まずはコップを上向きにすることが大切なのです。勉強を始めるとき、何かに取り組むとき、まずは「よし、やってみよう!」とか「がんばるぞ!」とか、自分の心に話しかけ、コップの向きを変えることが大切です。

努力はコップにどんどんたまっていきます。いろいろなことがわかり、いろいろなことができるようになり、うれしい気持ちになります。

みなさんのコップの向きはどちら向きでしょう?いつも上向きでうまくいっているという人もいます。もし、自分のコップが、「いやだなあ〜」と下向きになっている人がいるなら、ぜひ、お互いに声をかけ合いながら、コップの向きをみんなで変えて勉強や運動、友達づくりに取り組んでみませんか。きっとうまくなりますよ。先生方は、みなさんのコップが上向きになって良いものがどんどんたまっていくことを応援していきます!